

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度							
事務事業名	百里基地周辺対策事業（政策）					事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	
			02	01	15	07		
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						根拠法令	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
	(1) 自然環境の保全と活用						総合計画対象	対象
	1 環境保全・公害						市民協働	市民の関与
	④公害の防止						担当課係等	環境保全課 環境対策担当
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 自衛隊の特定の行為により生ずる損失を補償することにより、関係住民の安定及び福祉の向上に寄与する。	【関連事業】 公害防止対策事業（政策）
【期待される効果】 区域内住宅の騒音を軽減する。	【対象者】 防衛省騒音補助対象区域内の新入住民。
【全体概要】 百里飛行場航空機騒音対策事業等に関すること。	【特記事項】 特になし。
【平成27年度 事業内容】 区域内住宅の騒音を軽減するため、必要な工事を行うとき、その工事に対し補助をする。（27年度実績なし）	【平成28年度 事業内容】 区域内住宅の騒音を軽減するため、必要な工事を行うとき、その工事に対し補助をする。
【平成29年度 事業内容】 区域内住宅の騒音を軽減するため、必要な工事を行うとき、その工事に対し補助をする。	

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	50					
	自主財源	0	0	50					
	歳入計（千円）	0	0	100					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	19 負担金、補助及び交付金	0	0	100					
歳出計（千円）（A）	0	0	100						
（参考）	当初予算額	100	当初予算額	100	伸び率(%)	決	皆増	予	0.08
職員人工数	0.08	0.08	0.08						
職員人件費（B）	616	630	608						
総事業費（A）＋（B）	616	630	708						

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	要望等に関する打合せ	回	周辺自治体との調整	目標		1.00	1.00	1.00
				実績		1.00	1.00	0.00
				目標		0.00	0.00	0.00
				実績		0.00	0.00	0.00
成果指標	補助件数	件	百里飛行場航空機騒音対策戸数	目標		1.00	1.00	1.00
				実績		0.00	0.00	0.00
				目標		0.00	0.00	0.00
				実績		0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 騒音対策は市民の福祉の向上の観点から必要な事業である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の福祉向上につながるため、必要不可欠である
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助対象区域内の新住民に対し、申請があった場合のみ補助する事業のため、成果向上は求めない
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民への直接的な影響を与えるため、廃止休止できない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 県と市がそれぞれ50%の補助事業であり、騒音対策工事等の実績に基づく事業に要する予算項目の一時確保分であり削減余地がない
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助対象区域内限定である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 防衛施設周辺住民の生活環境の整備のため継続実施する。NHK放送受信料等の助成対象区域拡大を要望していく。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 清 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 周辺住民の住環境保全のため継続して実施いく。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度								
事務事業名	環境美化事業（政策）								
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	事業類型	業務委託
			04	01	06	03	政策経費		
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり							総合計画対象	対象
	(1) 自然環境の保全と活用							市民協働	市民主体
	1 環境保全・公害							担当課係等	環境保全課
②環境美化の推進							環境対策担当		
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部（D0）

【目的】 市内道路周辺の清掃や、緑化運動を推進し、快適な生活環境づくりに寄与する。	【関連事業】 環境美化事業
【期待される効果】 かすみがうら市を快適で住みやすい環境にする。	【対象者】 市民全体
【全体概要】 かすみがうら市全域において、市民参加のボランティア活動による周辺道路の一斉清掃（5月・8月・3月）や、緑化推進協議会員並びに市民によるフラワーロード及び市内の花壇の管理を行ってもらい、快適な生活環境づくりに努める。	【特記事項】 市緑化推進協議会補助金については、環境美化の観点から所属委員が市に代わって継続的な事業展開を行っており、公共性が高いことから引き続き交付する。
【平成27年度 事業内容】 ・フラワーロード及び市内花壇の管理 ・5月・8月・3月に空き缶等の一斉清掃実施	【平成28年度 事業内容】 ・フラワーロード及び市内花壇の管理 ・5月・8月・3月に空き缶等の一斉清掃実施
【平成29年度 事業内容】 フラワーロード及び市内花壇の管理。5月・8月・3月に空き缶等の一斉清掃実施。	

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	4,227	4,178	4,744
歳入計（千円）		4,227	4,178	4,744
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	309	299	410
	12 役務費	60	60	60
	13 委託料	1,258	1,219	1,674
	19 負担金、補助及び交付金	2,600	2,600	2,600
歳出計（千円）（A）		4,227	4,178	4,744
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 13.54 予 13.49
職員人工数		0.74	0.74	0.54
職員人件費（B）		5,690	5,823	4,104
総事業費（A）＋（B）		9,917	10,001	8,848

■指標						
種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動	市内花壇等のイベントの開催	回	目標	1.00	1.00	1.00
	フラワーフェスティバルの開催			実績	1.00	1.00
指標	広報回数	回	目標	3.00	3.00	3.00
	広報誌やホームページによる啓発			実績	3.00	3.00
成果	花のみち事業及び花いっぱい運動事業の花壇数	箇所	目標	254.00	254.00	254.00
	花を植栽している花壇			実績	222.00	194.00
指標	清掃参加者数	人	目標	17,500.00	20,000.00	20,000.00
	参加人数			実績	19,967.00	19,186.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の快適な生活環境づくり及び市民協働のまちづくりの観点から必要
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民と協働で行う環境美化活動の醸成から必要不可欠
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 一斉清掃活動参加者の増加及びフラワーロードの空き花壇の課題等、PR等の工夫が必要
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 環境美化が失われ、住民生活や環境の悪化が危惧される
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 収集業務委託の効率化、企業努力によるコスト削減を検討する必要がある
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内一斉であり公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	<p>現行のとおり続行。花の道フラワーロードの空き花壇対策については、広報誌及びホームページ等でボランティアを募集しているが応募が少ない状況にあり、数年にわたり改善が見込まれないことから、花壇の集約化及び花壇の転用等を検討し、市緑化推進協議会との事業計画を含め、フラワーロードの政策的な見直しが今後の課題と考える。</p>
<p>1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続 (<input type="checkbox"/>見直し <input checked="" type="checkbox"/>現状維持)</p> <p>改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 環境美化運動(ごみゼロの日等)、地域ボランティア等を中心とした環境美化活動、広報誌等による啓発を推進し、市民・事業者・行政が一体となった環境美化活動の定着を図る。</p>		
<p>2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 清 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続 (<input type="checkbox"/>見直し <input checked="" type="checkbox"/>現状維持)</p> <p>担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) ボランティア等への参加意欲を育み、市民参加型の環境保全等の活動の活性化を促していく。</p>		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度							
事務事業名	公害防止対策事業（政策）					事業類型	業務委託	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	
			04	01	06	05		
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	行政主体
	1 環境保全・公害						担当課係等	環境保全課
	④公害の防止							環境対策担当
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部（D0）

【目的】 市内の環境を継続的に監視し、快適な生活環境づくりに寄与すると共に環境保全の向上を図る。	【関連事業】 公害防止対策事業
【期待される効果】 かすみがうら市を公害及び苦情のない住みやすい街にする。	【対象者】 市内全域
【全体概要】 市内の河川水質、地下水、工場・事業場排水、ゴルフ場内からの排水（農業）、土壌の現状を調査し、環境基準の達成状況を把握する。	【特記事項】 特になし。
【平成27年度 事業内容】 河川水質（10河川16箇所）、地下水（33箇所）、工場・事業所排水（17箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所13箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音調査を行う。	【平成28年度 事業内容】 河川水質（10河川16箇所）、地下水（33箇所）、工場・事業所排水（17箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所12箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音調査を行う。
【平成29年度 事業内容】 河川水質（10河川16箇所）、地下水（33箇所）、工場・事業所排水（17箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所12箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音調査を行う。	

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	3,073	3,276	4,268
	歳入計（千円）	3,073	3,276	4,268
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	13	0	0
	11 需用費	28	50	27
	13 委託料	3,019	3,168	4,101
	14 使用料及び賃借料	13	13	13
	18 備品購入費	0	45	127
歳出計（千円）（A）		3,073	3,276	4,268
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 30.28 予 -0.35
職員人件費（B）		0.48	0.48	0.42
職員人件費（B）		3,691	3,777	3,192
総事業費（A）＋（B）		6,764	7,053	7,460

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動 指標	活動	指標	ゴルフ場水質検査箇所数	箇所	目標	13.00	12.00	12.00
			市内で調査を行っているゴルフ場の箇所数		実績	13.00	12.00	0.00
	指標	下土田残土現場水質調査	回	目標	2.00	2.00	2.00	
			残土現場及び周辺河川等の年間水質検査回数		実績	2.00	2.00	0.00
成果 指標	成果	指標	ゴルフ場排水基準の達成率	%	目標	100.00	100.00	100.00
			ゴルフ場からの排水が基準値内である割合		実績	100.00	100.00	0.00
	指標	下土田残土現場水質調査	箇所	目標	8.00	8.00	8.00	
			残土現場及び周辺河川等の水質検査箇所数		実績	8.00	8.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公害や苦情のない住みやすい環境の構築に必要な不可欠な事業である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共性の高い事業であり、行政関与が妥当である
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 生活環境保全のため、必要な調査及び検査を継続する必要があるが、状況を応じ調査個所の見直しは必要
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 行政監視体制がなくなることは、市民の安心な生活に影響を及ぼしかねない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 各種調査業務委託の見直し
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内全域対象であり、公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 河川など公共水域及びゴルフ場排水の定点モニタリング調査を継続的に実施し、水質の状況を監視する。特定施設の臭気調査については、経緯を見ながら調査方法等を検討し対応していく。また、調査結果に基づき規制・基準を順守するよう指導する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 清 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 河川、湖沼などの公共水域及び地下水について、情報を全市で共有し、霞ヶ浦の水質浄化保全に努める。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度										
事務事業名	不法投棄対策事業（政策）						事業類型	管理・運営			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例		
			04	01	06	07					
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象			
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	行政主体			
	1 環境保全・公害						担当課係等	環境保全課			
④公害の防止						環境対策担当					
事業期間	継続（ 年度～ ）										

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民が不法投棄のない清潔で快適な生活環境の中で暮らせることを目的とする。	【関連事業】 不法投棄対策事業
【期待される効果】 かすみがうら市を不法投棄の無い住みやすい街にする。	【対象者】 市内全体、富士見台地区（重点地区）
【全体概要】 環境保全監視員による監視及び不法投棄防止看板の設置や監視カメラによる監視を行い、不法投棄を未然に防ぐ。また不法投棄されてしまったごみが早期発見され処分することによって二次災害を防ぐことができる。	【特記事項】 高齢化や人口減少による地域監視が届かなくなることにより、不法投棄の撲滅は難しい状況下にある。市民の安全安心の確保及び環境保全からも監視等の取組みは充実を強化を図る必要がある。
【平成27年度 事業内容】 不法投棄防止看板設置箇所（監視重点地区）及び、富士見台地区においてカメラを設置し監視を続ける。	【平成28年度 事業内容】 不法投棄防止看板設置及び、富士見台地区においてカメラを設置し監視を続ける。
【平成29年度 事業内容】 不法投棄防止看板設置及び、不法投棄監視重点地区において、移動式監視カメラを増設し監視を強化する。	

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	0	92	162
歳入計（千円）		0	92	162
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 備品購入費	0	92	162
歳出計（千円）（A）		0	92	162
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 76.08 予 76.08
職員人工数		0.00	0.00	0.35
職員人件費（B）		0	0	2,660
総事業費（A）＋（B）		0	92	2,822

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	不法投棄パトロール	回	環境保全監視員、環境保全課職員及び不法投棄監視員によるパトロールの実施	目標	250.00	250.00	250.00	
				実績	207.00	207.00	0.00	
				目標	0.00	0.00	0.00	
				実績	0.00	0.00	0.00	
成果指標	不法投棄処理件数	件	不法投棄物を処理及び処分した件数(苦情件数)	目標	22.00	21.00	20.00	
				実績	29.00	38.00	0.00	
				目標	0.00	0.00	0.00	
				実績	0.00	0.00	0.00	

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 不法投棄をなくし快適な住環境を目指すうえで必要な事業である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共性の高い事業であり、行政の関与が必要
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 不法投棄重点区域の監視強化及び区域の拡大を行う
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 不法投棄の抑止力が失われ清潔で快適な生活環境が失われる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 不法投棄をなくすべく啓発活動を展開することで、市民の監視意識向上により事業費の削減余地がある
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内全域対象であり、公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 不法投棄の著しい場所に、移動式監視カメラを設置し監視体制を強化する。また、土地所有者及び管理者の管理責任を明確にし、自己管理の徹底を促し、啓発を促す看板や柵の設置について助言・支援するなど、不法投棄の未然防止に努める。		
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 清 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 近隣自治体、県及び警察等の関係機関との連携が重要である。情報交換に努めるとともに、今後も継続的に環境保全監視員との連携及び不法投棄監視カメラの活用により不法投棄の防止強化を図る。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度								
事務事業名	一般廃棄物処理事業（政策）								
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	業務委託 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
			04	01	06	09	政策経費		
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 資源循環型社会の形成						市民協働	行政主体	
	1 廃棄物処理						担当課係等	環境保全課	
①広域ごみ処理施設建設の推進						衛生担当			
事業期間	継続（年度～）								

現状把握の部（D0）

【目的】 各種ごみ収集運搬を実施することで、市民の快適な生活環境を実現する。	【関連事業】 一般廃棄物処理事業、リサイクル推進事業（政策）
【期待される効果】 ごみ収集運搬を適正に行うことで、市民の快適な生活環境を保全する。	【対象者】 市民全体
【全体概要】 一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーの日程に従って収集する。委託により可燃ごみ、不燃ごみ、カン、ビン、ペットボトル、資源ごみ、粗大ごみのステーション方式による収集を行っている。	【特記事項】 特になし。
【平成27年度 事業内容】 一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーに従って収集する。また、霞台厚生施設組合に新たに加入し、ごみ処理建設を推進する。	【平成28年度 事業内容】 一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーに従って収集する。また、霞台厚生施設組合に新たに加入し、ごみ処理建設を推進する。
【平成29年度 事業内容】 霞台厚生施設組合建設計画による新たな広域化ごみ処理施設建設を推進する。一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーに従って収集する。	

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	362,064	388,395	406,491
	歳入計（千円）	362,064	388,395	406,491
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	200	478	451
	13 委託料	110,302	108,643	120,000
	19 負担金、補助及び交付金	251,562	279,274	286,040
歳出計（千円）（A）	362,064	388,395	406,491	
（参考）	当初予算額	363,642	当初予算額	397,796
職員人工数	1.10	1.10	0.95	
職員人件費（B）	8,458	8,655	7,220	
総事業費（A）＋（B）	370,522	397,050	413,711	

■指標						
種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	年間のごみ収集日数	日	目標	307.00	307.00	309.00
	委託業者による収集日数		実績	307.00	310.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	ごみ収集量	トン	目標	14,500.00	14,000.00	14,000.00
	1年間のごみ収集量		実績	14,615.93	14,602.44	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 家庭系一般廃棄物収集に関する事業であり、集積所からステーション方式による収集業務委託を実施している。市民の快適な生活環境の実現のため必要不可欠な事業である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共性の高い事業であり、行政主体が基本である
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 ごみ収集運搬業務の検証及び見直しにより、きめ細かい丁寧な収集を指導する
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 清潔で快適な市民生活が損なわれる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 生ごみ処理機普及等リサイクルの促進により、ごみ減量化を促し処理経費を削減する
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内全域対象により、公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 収集委託料を削減するためには、ごみの減量が必要となることから、ごみ減量化の啓発活動を積極的に展開する。また、新たなごみ処理施設の安全で安定した処理を行うため霞台厚生施設組合における新ごみ処理施設建設に向け、予算措置を確保していく。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 清 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 快適な住環境を維持するため、市民との協働により、ごみ減量化及び資源物のリサイクルの推進を図る。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度							
事務事業名	リサイクル推進事業（政策）					事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	根拠法令	
			04	01	06	11		要求区分 政策経費
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 資源循環型社会の形成						市民協働	市民の関与
	1 廃棄物処理						担当課係等	環境保全課
③リサイクルの推進						衛生担当		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民が積極的にごみの分別、資源化及びごみの減量化に取り組む資源循環型社会を目指す。	【関連事業】 一般廃棄物処理事業（政策）
【期待される効果】 市民のごみ分別意識の向上、リサイクル率の向上、ごみの減量化、地球温暖化の抑止等	【対象者】 市内各世帯及び子ども会等団体
【全体概要】 団体登録を募集し、有価物団体登録をした子ども会等での資源物集団回収に対して補助金を交付する。生ごみ処理機等を設置した世帯に対しても補助金を交付する。	【特記事項】 平成28年度より生ごみ処理容器等設置事業の補助金額を購入価格の2分の1から4分の3に改め、さらなるごみの減量化を推進する。また平成28年度より小型家電リサイクル回収ボックス及び蛍光灯等水銀使用廃棄物回収ボックスを設置し、分別の強化リサイクルの推進を図る。
【平成27年度 事業内容】 ・子ども会等の資源物集団回収に対して補助金交付 ・生ごみ処理機等を設置した世帯に対して補助金交付	【平成28年度 事業内容】 ・子ども会等の資源物集団回収に対して補助金交付。 ・ごみ処理機等を設置した世帯に対して補助金交付
【平成29年度 事業内容】 ごみ減量推進啓発活動及び子ども会等の資源物集団回収の奨励、生ごみ処理器等を設置した世帯に対して補助金交付。	

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	43	68	90
	県支出金	0	0	0
	自主財源	1,136	1,070	1,210
	歳入計（千円）	1,179	1,138	1,300
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	95	90	100
	11 需用費	36	85	100
	19 負担金、補助及び交付金	1,048	963	1,100
歳出計（千円）（A）	1,179	1,138	1,300	
（参考）	当初予算額	1,370	当初予算額	1,492
職員人工数	0.50	0.50	1.00	
職員人件費（B）	3,845	3,934	7,600	
総事業費（A）＋（B）	5,024	5,072	8,900	

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	補助金交付団体数	団体	目標	44.00	45.00	45.00		
				実績	44.00	38.00	0.00	
	子ども会等の団体数	目標	0.00	0.00	0.00			
			実績	0.00	0.00	0.00		
成果指標	回収した資源物	トン	目標	200.00	200.00	200.00		
			実績	184.92	138.41	0.00		
	生ごみ処理容器等の補助件数	件	目標	25.00	30.00	30.00		
			実績	26.00	61.00	0.00		

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 循環型社会形成の推進は環境部門での主要政策である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 行政主導で推進している事業であり、妥当性が高い
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 少子化や学校統廃合による事業主体の減少があり、ごみ減量と資源化率の向上のために、新たな取り組みの検討が必要
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 循環型社会形成の推進に悪影響を及ぼす
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 循環型社会形成の推進に必要な経費(補助金)であり、事業費の削減は成果の低下に直結する
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内各世帯及び子ども会等の団体が対象であり、公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
<p>1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続(□見直し ■現状維持)</p> <p>改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 資源の分別収集や集団回収、小売店舗での店頭回収など、身近なところで実施されているリサイクル活動を積極的に推進するとともに、新たに実施した蛍光灯やボタン電池等の水銀使用廃棄物の拠点収集の更なる定着化を図る。</p>		
<p>2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 清 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続(□見直し ■現状維持)</p> <p>担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 循環型社会形成に向け市民との活動をとおして、ごみのリサイクルやごみ減量化の認識を共有する。</p>		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度							
事務事業名	環境保全推進事業（政策）					事業類型	業務委託	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	
			04	01	06	13		
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	市民の関与
	1 環境保全・公害						担当課係等	環境保全課
②環境美化の推進								環境対策担当
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部（D0）

【目的】 啓発活動等を行い地球温暖化の防止に寄与する。	【関連事業】 環境保全推進事業
【期待される効果】 温室効果ガス削減、地球温暖化の抑止。	【対象者】 市民全体
【全体概要】	【特記事項】 【太陽光補助実績】平成24年度104件、平成25年度103件、平成26年度84件。 【太陽光土地特例措置】平成26年25筆、平成27年度61筆、平成28年度115筆
【平成27年度 事業内容】 県及び地球温暖化防止活動推進員等と協力し、温室効果ガス削減の啓発活動等を行う。	【平成28年度 事業内容】 第四次温室効果ガス排出抑制実行計画書策定
	【平成29年度 事業内容】 前年度作成した実行計画書の進行管理

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	0	989	0
	歳入計（千円）	0	989	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	0	989	0
	歳出計（千円）（A）	0	989	0
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	1,000
職員人工数	0.00	0.00	0.00	
職員人件費（B）	0	0	0	
総事業費（A）＋（B）	0	989	0	

■指標						
種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動 指標	啓発活動数	回	目標	4.00	4.00	4.00
	温室効果ガス削減の啓発活動数		実績	4.00	4.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	温室効果ガス削減の啓発活動数	%	目標	100.00	100.00	100.00
			実績	100.00	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地球温暖化防止対策等の普及啓発活動及び温室効果排出ガスの抑制であり政策的に必要性が高い
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共性の高い事業
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 今後も普及啓発活動を継続する
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民の事業への意識向上を阻害する
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 平成28年度に第四次温室効果ガス排出抑制実行計画の策定を終え、今後、新たな補助金等の創設など醸成を図る必要がある
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民全体が対象で公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
<p>1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)</p> <p>改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 平成27年「パリ協定」により、各国において着実な温室効果ガスの削減が求められています。市においても、温室効果ガス排出抑制実行計画において市施設における業務に伴う温室効果ガスの着実な削減に取り組み、エコライフの一層の推進を図る。</p>		
<p>2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 清 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)</p> <p>担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 世界的に地球温暖化防止対策として、温室効果ガス削減の取組みが喫緊の課題として求められている。市としてもこのことを多くの市民に理解してもらえよう「第四次温室効果ガス排出抑制計画」を着実に実行し成果を上げることが求められる。</p>		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度							
事務事業名	霞ヶ浦関係保全事業（政策）					事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	根拠法令	
			04	01	06	15		要求区分 政策経費
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	共催
	1 環境保全・公害						担当課係等	環境保全課
③霞ヶ浦の水質浄化・環境整備促進						環境対策担当		
事業期間	継続（年度～）							

現状把握の部（D0）

【目的】 霞ヶ浦の水質の現状を認識し、水質浄化の推進を図る。	【関連事業】 霞ヶ浦関係保全事業	
【期待される効果】 霞ヶ浦の水質浄化、環境整備促進。	【対象者】 かすみがうら市家庭排水浄化推進協議会	
【全体概要】 霞ヶ浦及び霞ヶ浦流入河川の水質浄化を図るため家庭排水の浄化の推進や広報啓発活動等を実施し、住民福祉の向上を図る。	【特記事項】 特になし。	
【平成27年度 事業内容】 家庭排水浄化推進協議会補助金の交付。	【平成28年度 事業内容】 家庭排水浄化推進協議会補助金の交付。	【平成29年度 事業内容】 家庭排水浄化推進協議会補助金の交付。

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	80	785	80
	歳入計（千円）	80	785	80
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	09 旅費	0	705	0
	19 負担金、補助及び交付金	80	80	80
歳出計（千円）（A）	80	785	80	
（参考）	当初予算額	80	当初予算額	80
職員人工数	0.44	0.44	0.40	
職員人件費（B）	3,384	3,462	3,040	
総事業費（A）＋（B）	3,464	4,247	3,120	

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	啓発活動数	回	目標	2.00	2.00	2.00		
				実績	2.00	2.00	0.00	
	水質浄化啓発活動回数		目標	0.00	0.00	0.00		
			実績	0.00	0.00	0.00		
成果指標	活動枚数	%	目標	100.00	100.00	100.00		
			実績	100.00	100.00	0.00		
	啓発活動で用意した啓発用品を配布できた割合		目標	0.00	0.00	0.00		
			実績	0.00	0.00	0.00		

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦及び霞ヶ浦流入河川の環境保全是、快適な住環境づくりに必要な事業である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共性の高い事業である
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 家庭排水浄化推進協議会委員と連携をとりながら、霞ヶ浦及び恋瀬川をはじめとする流入河川の浄化を図る
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 霞ヶ浦及び恋瀬川をはじめとする流入河川の環境保全の推進に影響がある
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 かすみがうら市家庭排水浄化推進協議会への補助金だけの事業であり、市全体に水質浄化活動に取り組んでいることから公平である
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦及び恋瀬川をはじめとする流入河川の環境保全に関する事業であり、公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 「かすみがうら市家庭排水浄化推進協議会」等と連携した啓発パンフレット等の配布、イベント等により、家庭でできる生活排水対策の普及を推進する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 清 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 霞ヶ浦の水質浄化には、家庭排水の浄化が欠かすことができないため、霞ヶ浦水質浄化に向けて広報誌、ホームページ等を通じて日常生活における一人ひとりの取り組みや、補助制度をPRし、市民意識の啓発を図る。		